

## 「委員意見」

## 1 意見一覧

No.	意見	発言者
(1)	補導活動での怠学者の増加が気になるが、補導活動においては「声をかけ、気にしてくれる大人がいることを知ってもらおう」ことが大切だと思っている。サイバーパトロールも大切な情報源だと考えるが、人と人との触れ合いを基本に活動を続けてほしいと思う。	上坂委員
(2)	<p>高校生の不登校について相談を受けることがあるが、以前よりも生徒や保護者が通信制高校への転校を選択することが多くなったように思われます。</p> <p>不登校という悩みが一般的になったのか、時代・環境の変化によるものなのか、次の対応に割とスムーズに移行しているように感じています。</p>	金森委員
(3)	<p>スマートフォン、インターネットの普及によって、いじめ、非行のスタイルも大きく変化してきていると感じる。</p> <p>スマートフォン等の機器を「持たせない」ではなくモラルの啓もうの必要性を感じている。</p> <p>いじめへの対応の観点からも各種相談活動の一層の充実を期待する。</p>	荒井委員
(4)	<p>S N S の扱い方に注意をしないといけないと感じている。</p> <p>学校のいじめは「学校に行かない」「卒業する」ということで避けられることがあるが、S N S への書き込み等のいじめからは離れることが難しい。</p> <p>取り締まりにも限界があるので、教育に力を入れることが重要だと思う。</p>	前川委員

## 2 事務局の対応

上記意見を踏まえ、補導活動、相談活動及び広報啓発活動に対応していきます。